

総合資格、1級建築士合格者の占有率

9年連続でナンバーワン達成

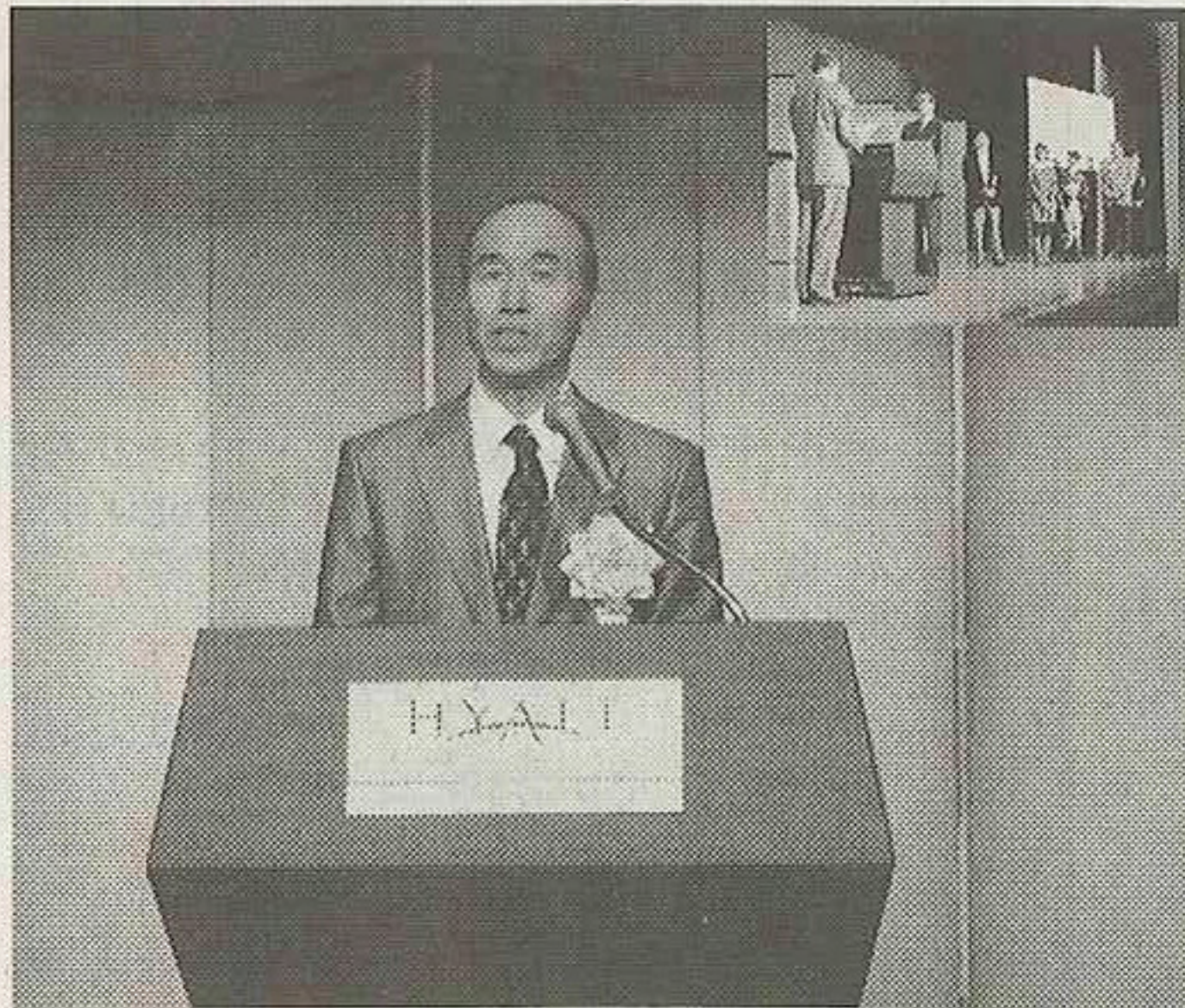
東京地区

総合資格学院を運営する総合資格（新宿区西新宿、岸隆司社長）は9日、1級建築士合格者をはじめ建築関連団体・設計事務所関係者など約800

人が出席し、東京地区「2011年度総合資格学院合格祝賀会」を開いた。岸社長は、「合格した皆さんは、この時から資格者としての人生がスタ

ートする。きょうの喜びを忘れることなく、ともに勝ち抜いた仲間との交流を生かし、学院の卒業生として、それぞれの分野で活躍してほしい」と述べる。同時に、「昨年の1級建築士試験では、学院が教室を開講している地域での全合格者数は4369人でそのうち当

宮城県・神奈川県が6年連続で合格者の過半数を占めることができた。12年度の1級建築士試験においても、開講都道府県の合格者占有率7割を目標に、2級建築士試験・宅建試験において出席9割、宿題9割提出者の合格率80%を目指し、講師・職員ともに講習システムの改善や指導体制強化をしていく」とあいさつした。



あいさつする岸隆司社長と修了証を授与される各合格者代表（右上）

学院生は2259人と51・7%を占め、全国47都道府県中、開講している36都道府県でもほぼ50%となり合格者のおよそ半数を輩出することができた。これにより東京都は9年連続、創業の地愛知が12年、三重県が9年、

建築士の急速な高齢化で1級建築士の減少や不足が危惧される中、06年の建築士法改正から、建築士試験はこれまで以上に高い資質と専門性が求められる傾向にあり、同校の存在が建築士合格を目指す受験生には大きな力となっている。